

北海道帯広南商業高等学校 校 歌

作詞 村 松 勝 造
作曲 工 藤 健 次

明るく行進曲風に

あさひに はゆー る ひだかねーの
ゆうべは くぎー る てんとちーの
しゅうれい のみーねーあーおーぐとき
けだかく きよく おおーしくと
よ びかけ さそ う す がーたこそ
まーなぶ われーらのしるしなーり

一、朝日に映ゆる 日高嶺の

夕はくぎる 天と地の

秀麗の峰 仰ぐとき

けだかく清く 雄々しくと

よびかけさそう 山容こそ

学ぶ我等の 象徴なり

二、十勝野うねり はて遠く

落葉松つづく 並木道

なみだのにじむ 鍬のあと

緑の牧場 つづりなす

おおらかな明地の 景観こそ

学ぶ我等の 理想なり

三、十勝の大河 水清ら

ながれによどむ淵もなく

若き生命の 歩むべき

はるけき道を ささやきぬ

清冽玉の 水容こそ

学ぶ我等の 希望なり